

『平成22年度 第2回地域力創造セミナー』開催のご案内

◆ 本セミナーの開催趣旨

国・地方の厳しい財政状況や人口減少社会の到来など、地域を取り巻く環境が大きく変化している中、地域を支える人材の育成や地域経営のためのノウハウ蓄積、コミュニティ活動の再生など、「地域力」を高める取組や「住民協働」の視点が更に重要となってきております。このため、活力ある地域づくりや課題解決に取り組む各地方公共団体のノウハウ蓄積、人材育成等を支援するとともに、共通の行政課題に取り組む地方公共団体同士や講師とのネットワーク構築の場を提供するため、「地域力創造セミナー」を開催します。

◆ 第2回セミナーの開催日時、場所

- 日時：平成 23 年 2 月 2 日(水) 13:00~17:45
- テーマ：地域力創造の現場から
「地域の食を活かした地域づくり～B級グルメによる地域おこし」
- 場所：総務省(合同庁舎第2号館) 地下2階講堂
東京都千代田区霞が関2丁目1-2
(http://www.soumu.go.jp/menu_sosiki/annai/map-1.html)

◆ 本研修の特長

- ★「地域人材ネット」へ登録の専門家等を講師・発表者として、活力ある地域づくりや課題解決の先進事例等の講義等を通して、知識やノウハウが習得できます。
 - ★受講募集時に質問を募り、それを講義へ反映させることで受講者のニーズに対応いたします。
 - ★セミナーを通じて、講師や受講者が自由に情報交換をすることでネットワークを広げる機会があります。
- ※「地域人材ネット」：地域活性化に活躍している民間専門家や先進市町村職員等を登録し、総務省ホームページで広く紹介することにより、市町村相互の交流やノウハウの共有等に寄与しています。
地域人材ネット Web アドレス：<http://www.soumu.go.jp/ganbaru/jinzai/index.html>

◆ 本セミナーの受講の対象者

- 地域活性化に興味を持つ、あるいは関連部署の行政職員
※募集人数は200名程度を予定しております。申し込み多数の場合は地域活性化や住民協働などに関する事業の経験年数を有する方を優先させていただきます。

◆ 参加費

セミナー参加は無料です。

◆ 応募方法

専用の受講申込書(別紙3)より都道府県及び管内市区町村の職員の受講希望を取りまとめの上、平成23年1月19日(水)17時までに電子メールにて総務省地域力創造グループ地域自立応援課<s.hisanaga@soumu.go.jp>宛に提出してください。受講決定は1月下旬に事務局から受講者に直接お知らせいたします。

◆ 問い合わせ先

【セミナー全般・お申込等について：主催者】
総務省地域力創造グループ 地域自立応援課
担当：秦野地域支援専門官、高橋係長、久永事務官
TEL：03-5253-5394 FAX：03-5253-5537
E-Mail：s.hisanaga@soumu.go.jp

【お問合せについて：事務局】
みずほ情報総研株式会社 社会経済コンサルティング部
担当：吉岡、余川(よかわ)
TEL: 03-5281-5406 FAX:03-5281-5443
E-Mail：chiikiryoku@mizuho-ir.co.jp

◆ 第2回セミナーの内容

1. 開会 (13:00)
2. 講演1 (13:20~14:20 60分)
 テーマ「ご当地グルメを活かした地域づくり」
 講師：富士宮焼きそば学会 会長
 社団法人B級ご当地グルメでまちおこし団体連絡協議会（愛Bリーグ）
 代表理事 渡邊 英彦 氏
3. 講演2 (14:30~15:50 80分)
 テーマ「地域活性化に必要なもの」
 講師：株式会社地域活性プランニング 代表取締役 藤崎 慎一 氏
4. パネルトーク (16:00~17:00 60分)
 テーマ：地域活性化について必要なものとは
 コーディネーター：社団法人B級ご当地グルメでまちおこし団体連絡協議会（愛Bリーグ）顧問、
 日本経済新聞社特別編集委員 野瀬 泰申 氏
 パネリスト：渡邊 英彦 氏、藤崎 慎一 氏
5. 名刺交換会（情報交換会） (17:00~17:45 45分)
6. 閉会

◆ セミナー会場（総務省）までのアクセス

- ★ 丸ノ内線・日比谷線・千代田線「霞ヶ関」駅下車
- ★ 有楽町線「桜田門」駅下車 徒歩約3分
- ★ 銀座線「虎ノ門」駅下車 徒歩約8分
- ★ なお、駐車場は用意してございません



◆ 申し込み欄

氏名(ふりがな)	()
E-mail アドレス	
電話番号	
ご所属	(所属名)
	(部署名) (役職名)
	(電話番号)
	(地域活性化や住民協働などに関する事業の経験年数) 年
本セミナー当日にお聞きしたいことがございましたらご記入ください	講師名： 質問：

平成22年度 第2回 地域力創造セミナー講師等一覧

参考

		氏名(敬称略)		実績等
講演1 (60分間)	渡邊 英彦 (わたなべ ひでひこ)		富士宮 やきそば学会 会長、 (社)B級ご当地グルメ でまちおこし団体連絡 協議会(愛Bリーグ) 代表理事	食による地域ブランド確立および活性化戦略 2000年に「富士宮やきそば学会」を設立、地元で食べ続けられている特徴のある「富士宮のやきそば」を様々な企画を通して情報発信することにより、行政予算なしで6年間に217億円の経済波及効果を生み出し、約60万人の観光客の増加につなげた。2006年から始めた「B-1グランプリ」では2年連続でグランプリを獲得し更に「富士宮やきそば」の認知度を向上させることに成功。この間に、「NPO法人まちづくりトッランナーふじのみや本舗」「(社)B級ご当地グルメでまちおこし団体連絡協議会=愛Bリーグ」「(株)プロシューマー」等を設立し、全国の自治体、大学、商工会議所等で500回以上の講演をこなしている。 「ふるさとづくり振興奨励賞」(2001年12月)、「しずおか観光大賞」(2002年5月)、「日本商工会議所ベストアクション賞」(2006年6月)、「総務大臣表彰」(2007年11月)、「日本イベント大賞製作賞」(2008年2月)
講義2 (80分間)	藤崎 慎一 (ふじさき しんいち)		株式会社地域活性プ ランニング 代表取締役	ビジネス視点でのコーチングにより、住民を自立させての地域活性で成果を上げる 「宮崎青島再生会議」(宮崎県)では、宮崎青島地域を再生させるために、地域住民が主体となったまちづくりワーキングを実施し地産地消を目指す新名物「あしたばうどん」の開発や様々な案の検討。また、「伊勢志摩再生プロジェクト」(三重県)では、どん底に落ち込んだ伊勢鳥羽志摩地域を再生させるために、地域の「ばか者」9人と「よそ者」である藤崎氏の計10名が指名を受け、月1~2回徹底した議論を展開、同時に行動し、地域課題を解決、そして成果を上げた。 「愛知観光チャレンジプラン」委員(愛知県)、「茨城県ブランド戦略会議」委員長(茨城県)、「ロケ地データベース委員会」委員長(愛知県)、「宮崎県青島地域活性化検討会議」アドバイザー(宮崎県・宮崎市)、「地域中小企業サポーター」(経済産業省)、「地域活性化伝道師」(内閣官房)平成21年度及び平成22年度地域力創造アドバイザー(総務省)
パネル トーク コーディネーター	野瀬 泰申 (のせ やすのぶ)		日本経済新聞社 特別編集委員 (社)B級ご当地グルメ でまちおこし団体連絡 協議会(愛Bリーグ) 顧問	1951年福岡県生まれ。東京都立大卒。 75年に日本経済新聞社に入社し大阪本社文化担当部長、東京本社文化部編集委員、同生活情報部編集委員などを経て現職。 地域独特の食文化を「食の方言」と名づけ、それを題材にNIKKEI NETで読者との交流企画コラム「食べ物 新日本奇行」を2002年11月より2010年3月まで連載。日本経済新聞電子版の創刊に伴い、2010年3月から新コーナー「列島あちこち 食べるぞ! B級グルメ」を連載中。著書に「眼で食べる日本人」「全日本『食の方言』地図」「天ぷらにソースをかけますか?」など。